

1982年 9月 14日

合掌

古の日より私の身体、口、心より発生し

私が犯し続けてきた限りなき三毒、貪り、怒り、無知を浄化すると
今ここで誓います。

冒頭において比較するものなく深淵にして、細密なること此の上なき仏法への道は百年、千年、または
百万年経ても達成しがたいものですが、我々は今やこれを見これを聞き会得する事が可能となりました。
般若波羅蜜多の真実なる意味を理解し実行出来ますように。

南無大菩薩、 南無大菩薩、 南無大菩薩

親愛なる友人

皆様ご存知のように、今年の7月31日、私は禅教団の理事長の職を退く旨辞表を提出いたしました。
その日私は正法寺3階にある栄道老師の部屋を訪ね私の決心を話しました。 その時彼は私に辞職する
など頼み、“自分は理事会のメンバーを招集し、その席上で私自身の引退を表明する。 人々は私が仏
法を汚したとっている。 私はこれ以上此の国で仕事を続ける意欲を失った、私はこのまま仕事を続
ける事は出来ないし、続けるつもりもない”といました。 此の時私は此の時点において、未だ救済
の余地があるとみたので彼に辞職せぬよう説得しました。 しかし此の時以来多くの事が明るみに出、
今思えば此の時点で彼が辞職しておれば仏法のため、禅教団のため、栄道老師とアイホーのためにも一
番良かったと思っています。 正真正銘彼は仏法を汚しました。 私達がいま大菩薩禅堂と正法寺に持
っているものは真の仏法ではなく栄道とアイホーの法で、ああ、悲しい事にこれは全く違うものなので
す。 我々全員知っている事なのですが栄道老師は聖なる接心の日、弟子を誘惑した廉で告訴されてい
ます。 これは我々古い僧伽のメンバーにとってはさして珍しいことではありません。 このような事
は何度も何度も、繰り返しあったことでした。 これは仏教徒の僧伽の醜聞として全国に知れ渡ること
となり、他の禅師達は彼らの弟子を栄道老師の寺へは送ってまいりません。 もし弟子がどうしても来
たいと望んだ場合禅師達は栄道老師の性癖を説明して注意をあたえるのです。

1975年の栄道老師によるセックスキャンダルの結果辞職したマーゴ ウィルキは理事会の会員と
して最も活躍したひとりの一人でした。 彼女はアジアその他の大慈善財団の理事をつとめた偉大な貢献
者でした。 私達の友情はその後も続き彼女の晩餐会に招待された時此の社会の有力者たちと会いまし
た。 - そのうち何人かは、以前我々に寄付をして援助してくれた人達でした。 私が禅教団の理事長で
大菩薩禅堂や栄道老師と関わりのある人物であると紹介されると彼らはみな “角を生やしたトルコ
の大親分と彼の禅堂のハーレム（回教徒の婦人部屋）はどうなっていますか？” とか “全く あれが
精神修養なら私もやってみたいよ” などとって嘲笑するのです。 当然のことながら、これらの
人々はこのような不行跡の行われている禅堂を支持して寄付する意思は全くありません。 我々は特別
下賜の嘆願書を団体宛に送りましたが、彼らの返答は、他へ授与することにきめたので私達へは皆無と
いうことでした。 此の問題は深刻となり過去2年というもの我々の教団では、例の有罪判決の一件以
来基金不足も極度に達しました。 我々は彼が非合法麻薬販売によって得た金でなんとかまかなって
いたのですが、やがてそれでも我々の必要最小限の支払いもこと欠くようになりました。 昨年は緊急事
態に陥りコリンと私は事態を救うため非常時基金と借金をせねば なりません。 教団は何百万ド
ルに相当する敷地を持っておりながら、我々は精神的にも財政的にも完全な破産状態でした。

長年にわたり、理事の会員達は住持の妻が組織の会計係であることに反対でした。 彼らは、これは全
く納得のゆかない、望ましくない事だと異議を申し立てたのですがコリンと私は無理に納得させてまい
りました。 我々は会計を扱う者の尊厳を信じて、いささかの疑いも持たなかったのです。 とところが、
前回宗淵老師が我々を訪れた時、金銭贈呈が行われていなかった事実が判明し、簿記の統一性に対する
疑問が生じました。 この疑問はコリンの声明によりいっそう明白なものになったのですが、過去何年
もの間、島野は所得税の申告を行っていなかったのです。 これはどういう事でしょうか？ もし、

これが事実ならば、さらにひとつ教団の会長と会計係の厚顔無恥の例を加えた事になり、これが報道関係に知られたら我々はおしまいです。

昨土曜日、リンコと私は島野の長い友達でありサウスオーク病院の精神科の古参の医師でもある小倉ただお氏と面接いたしました。 ほぼ4時間にわたり、島野に関する我々の問題を話しあいました。 これはとても辛い困難な経験だったのですが、最後に小倉医師はかなり長い時間をかけて彼の考えの要約を語りました。 “島野夫人に関して言える事は、誰も受け止める事の出来ない憎しみと怒りとが激流のように彼女から流出していることです。 何が原因か私は知りませんが、私に分かっている事は、彼女は稀にみる激しい性格の女で、彼女こそ栄道老師を飲み込んでしまっていることです。 島野老師に関して言える事は、彼は基本的には弱い人間です。 彼が大菩薩禅堂、正法寺においてかくも大なる貢献を成した原動力は、彼の性的精力によるもので、彼はこの精力を自分の力で制御することができません。 これに加えて彼の虚言の数々を思うに、彼を大菩薩禅堂と正法寺から除去することが必要だと思います。 彼が辞職後どこへ行こうが、何をしようが、二度と権威ある地位を与えてはいけません。”

何年も我々の多くは栄道老師を助けようと奮闘してきました。 しかし小倉医師が指摘されたように、栄道老師はすでに我々には救いようのない程の深みに落ちてしまいました。 我々は昨日チゲツさんと話合ったのですが、彼女も（慈悲心をもって）解任すべきであるとの意見に賛成です。 あの信義にあつい、忠実なコリンでさえも先週私のアパートへ来た時話し合った事ですが、彼は栄道老師とアイホーが静かに、速やかに辞職するよう祈っていると申しました。 我々の多くはこの祈りに加わるでしょう。 というわけで、現在の時点で私は栄道老師に、仏道と禅教団を助けるために、さらに恥と不面目の上塗りをしていないために、辞職の決意と手続きを決行するよう進言します。 もし、彼がそうするならば、私はこの手紙を破棄し、多くの不行跡を暴露する文書も記録から除きます。 もし、栄道老師が辞職しない方針を選ぶなら私は此の手紙を集会の議事録の一部として全会員に表明、さる菩薩が現れて栄道老師と島野やすこをそれぞれ禅教団の会長と会計の地位から外し、栄道老師を大菩薩禅堂と正法寺の住職の地位から除去するに必要な勇気をもたらすようたのみます。 もし、投票の結果解任不成功となった場合、私は今度こそ皆の道義心に訴え、理事会全員引退、全大菩薩禅堂のメンバーも辞職すべきであると呼びかけます。

貴方がたの礼遇を感謝いたします。

南無大菩薩 南無大菩薩 南無大菩薩